

パブリックコメント案件概要

案件名:あまがさき共創DXプラン2.0(素案)の策定について

1. 施策の概要

DX(デジタル・トランスフォーメーション)を通して市役所業務を変革し、デジタルを生かした新しいサービスを創り出し、市民・事業者の皆様へ新しい価値や体験をもたらすことを目指し、DXに関する新たなプランを策定するものです。

2. 施策策定(見直し)に至った背景・問題点など

現行の「あまがさき共創DXプラン」は令和7年度末を以て計画期間が満了することから、新たな「あまがさき共創DXプラン」を策定し、トレンドやニーズに即した市民や事業者の利便性の向上に資するデジタル化についても強化し、市民や事業者の皆様とともに一丸となって尼崎市のスマートシティ化を進めていく必要があります。

3. 目指す姿・対応策など

デジタル化がいかに進んでも、その活用・運用においては、市民や地域と繋がり、共創・協働していくことが必要であることから、デジタルで繋がる地域のコミュニケーション基盤を通じ、新しい共創のカたちをつくることを目指しています。

4. 施策の対象範囲・期間など

令和8～10年度の3年間の計画期間とします。

5. 市民意向調査の概要

令和7年7月25日から同年9月11日までの期間、市民意見を募集しました。結果8件の意見が寄せられ、市役所での手続きオンライン化、書かない窓口の導入、市の情報へのアクセスのしやすさなどに対する意見がありました。これらの意見や社会動向等を踏まえ、あまがさき共創DXプラン2.0では行政手続きのスマート化やデジタル共創プラットフォームの構築などを重点取組としています。

6. 施策の検討経過

(1) 素案検討過程での主な論点

素案策定にあたり、市民意向調査に加え、独自で市民アンケートなどを実施しました。その結果、行政手続きにおける待ち時間の短縮などの「窓口手続きのスマート化」や、「行政サービスのスマホ完結」に関するニーズが高いことが確認できました。これらの課題解決に向けて、より一層の窓口スマート化やスマホを行政サービスの入り口とする共創アプリの導入などに加え、職員の業務効率化に向けた取組など、計6項目を計画期間中の重点取組として設定しています。

(2) 策定過程で比較検討した複数案の主な項目と反映理由

デジタル化の急速な進展により、デジタル技術の利用者間で生じる情報格差、いわゆる「デジタルデバインド」を生まないよう、デジタルデバインド対策を実施すべきとの意見をいただき、当プランに反映しています。

7. 今後のスケジュール

令和7年12月15日から令和8年1月14日 パブリックコメントの実施

令和8年2～3月 パブリックコメントの結果公表

令和8年3月中 成案化及び公表

8. 添付資料

あまがさき共創DXプラン2.0(素案)

9. お問い合わせ先

総務局 行政マネジメント部 デジタル推進課

〒660-0051 尼崎市東七松町1丁目5番20号 市政情報センター2F

電話番号(TEL) 06-6489-6202

メールアドレス(Eメール) zyoho_seisaku@city.amagasaki.hyogo.jp



※ ご意見はフォームからが便利です